

# らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ



● 常木らくだ ●

当ブログ「らくだ図書館」も、開設五か月を迎えました。

そうか……。

ふと気が付けば、もう五か月か……。

ちなみに、以前「毎日更新ってすごいですね」と言っていたことがありますが、自分の場合は言葉を読むよりも PC に文字を入力する方が早いので、毎日更新はまったく負担ではありません。

まあね。

タイピングが早いのではなく、しゃべるのが遅すぎるんですが。

それはともかく、継続は力なり。

今後もしつこいジャブ攻撃のように、ネチネチ更新を続けていこうと思います。

そんなわけで、今日から 6 月。

5 月は結局何も書けなかったんで、今月こそは真面目に過ごそうと思い、今日からアルクの翻訳を始めました。

とりあえず出版部門から始め、その後に実務部門、最後に字幕部門に挑戦する予定。

「どの程度意識していいか」には相変わらず悩みますが、いたばし絵本の課題よりは訳しやすいので、英和辞典と国語辞典を片手に頑張ってみます。

いたばし絵本は、文章というより、ポエムだったからな。

訳しながら「これ、原文で読まなきゃ意味ないよね」と何度思ったことか。

そんなこんなの、ワナビ的(?) 近況。

来月に控える各賞の発表祭りに向けて、気分を盛り上げていきたいと思います。

今日は昨日に引き続き、翻訳に取り組むことに。

しかし字幕翻訳のところで思ったんですが、解釈の方法が二通りあって、どちらが正解なのか非常に迷う箇所が。

ううむ……。

ここは一つ、昔アメリカに住んでいた父に聞いてみるか……。

しかしこの課題、状況説明のところに「フェラチオ」という単語が書いてあるので、家族に見せるのは少々ためられる厄介な代物。

いや……。

別にそのシーンが実際に出てくるわけではなく、冗談めかして言うだけなんですけど、それでもやっぱり……ねえ？

ちなみに同じ家族でも、兄ならフェラチオの部分は問題ないけど、兄は別に英語が得意なわけではないので、見せても意味がないっていう。

アレだな。

世の中、うまくいかないもんだ。

まあそんな感じで、アルクの翻訳課題に、楽しく取り組んでおります。

ちなみに課題の映画「グッド・ドクター」はすでに公開済みで、来月頭にはDVDも出るようですが、あえて見ないでおこうかなと。

やっぱり正解を送るより、「自分はこう思う」というのを、全力でぶつけないとね！

それが、ザビエル様の投稿で得た、2011年最大の教訓だ！

というわけで、結局ザビエル様の話に落ち着きつつ、今日は以上です。

昨日のブログを書いた後、「18 禁フィルターにひっかからないよう、例の単語は伏せ字にしたら？」と知人から親切な指摘が。

なるほど。

言われてみれば、確かにその通りだ。

ももんじゃのぬいぐるみを紹介して喜んでいるような健全なブログなのに、そんな理由でアダルトサイト扱いされて削除でもされたら、あまりにも寂しすぎるもんな……。

まあでも、もう書きちゃったし、いいや。

もし削除されたら、それはそれで、ネタにして楽しもう。

失敗やトラブルの類は、全部ネタにすればいいって、じっちゃんが言ってた……！

(言ってません)

それはそうと、今日は京都国際マンガミュージアムで開催中の、「絵師 100 人展」を見てきました。

しかし、知らない絵師さんがほとんどで、自分の勉強不足を痛感しました。

100 枚のうち、何の絵を書いている人なのか、確実にわかったのは 5 人くらい……。

自分はワナビにしては珍しく、「この絵師さんにイラストを描いて欲しい！」と思ったことがないので、それで余計にわからないんだと思います。

「この声優さんに、この台詞を読んで欲しい！」は、よくあるんですけどね。

べっ、別に危険な妄想じゃないよ！

ワナビだったら、誰でも一度は考えるよねっ！？

まあとにかく、「絵師 100 人展」は 6 月 24 日まで開催ということなので、ご興味のある方は足を運んでみてください。

場所が京都ということもあってか、「和服（巫女も含む）多し！」な内容でした。

もし仮に本を出版できることになって、「何でも好きに書いていいよ」と言われたら、南国サンクチュアリを書きたいと思う。

ええ、妄想です。

そんな妄想で自分を励ます、寂しい無力なワナビです。

いや、でもね。

ワナビをしばらく続けていると、完成作品が徐々に増えていくものですが、その中に「これが自分の標準だ」と思う作品ってありませんか？

逆に、「これは無理してる」と思う作品も、中には存在したりして。

そんな中、「これが標準規格だな」と思える作品が、自分にとっては「南国サンクチュアリ」なわけです。

まあ、初めて書いた話なので、当然といっちゃ当然なんです。

最近思うんですけど、評価シートがたくさん集まってくると、いい意味で成長できる反面、悪い知恵も自然と身に付いてしまうんですね。

「この賞はこういう設定を喜ばず」とか、逆に「このキャラはウケないだろうな」とか。

その手のあざとい計算が皆無で、どこまでも書きたいことを書いたのが「南国」なので、3年たった今でも自分の中で一番好きな話です。

え？

ザビエル様は何なのか？

ザビエル様は、自分の趣味をわざと前面に押し出して、しかも読み手にそれを押し付ける作品ですね。

宣教師に萌えない普通の人にとっては、とてつもなく迷惑な話だと思います。

まあとにかく、色々書いても思うように結果が出ないので、ここらで一度「南国サンクチュアリ」に原点復帰してみようかな、と思います。

南国サンクチュアリの世界は、絵で表現したら、本当に綺麗だと思うんですよ！！

……なんてね。

それこそワナビの妄想だけど、言いたいから言ってみた。

まあ、選考に落ちてしまったということは、「この作品を絵で見たい！」と読み手に思わせるほど、情景描写ができていなかったということですが。

うん。

その辺も含めて、書き直したいな。

しかしまあ、エピソードを多少入れ替えた程度では結果って変わらないと思うので、南国を改稿する際は、基本設定を残しつつ根本的に違うストーリーを書こうと思います。

既存作を改稿して投稿する時は、「別作品だよ！」と言えるくらい大胆に変えるべしと、以前どこかの賞のサイトで見えた記憶があります。

ちょっとのアドバイスで直せる程度のアラなら、受賞させた上で直させるから、って。  
なのに受賞に至らなかったってことは、内容を根本的に変えなきゃダメだよ、って。

記憶が曖昧ですが、確か GA ブログでしたっけね？

まあ「南国」は GA に弾かれてしまったので、送る場合は SD にしますが。

そんなこんなで、南国の構想を練りつつも、今月はとりあえず翻訳に集中。

来月になったら今投稿している作品群の結果がわかるので、それを見てから、今後どんな物を書いていくべきか方向性を決めようと思います。

本日、日本語検定の受検票が届いたんですが、会場はディオス北千里でした。

ディオス北千里って、ローカルすぎるだろ！  
大阪人でも、南部の人はきっと知らないぞ！

自分が住んでいる住所だと、資格試験の会場はたいてい吹田の関西大学になるんですが、久しぶりに関大以外の場所を指定されてテンションが上がりました。

そしてもう一つ気になるのは、受検番号の末尾が「005」である点……。  
結構ギリギリに申し込んだのに、まさか5人目ってことはあるまいな……。

いや！  
きっとそんなことないよね！

当日はディオス全館を貸し切るくらい、活気に溢れていることを期待します。

ちなみに去年「語彙・読解力検定」を受けた時は、第一回だから少ないだろうと思っていたのに、自分の教室だけでも400人近く受検者がいてビビりました。

ベネッセの宣伝力、侮りがたし……！  
いや、ベネッセというより、朝日新聞の力かな？

まあとにかく、文章書きを最大の趣味としている以上、日本語系の検定で落ちるわけにはいかないので、ちゃんとしっかり勉強して行こうと思います。

それプラス翻訳もあるし、今月は勉強するターン。  
そして来月は、発表祭りで燃えまくるターン。

まあね。  
落ちたら燃えられないんですけどね。

しかしそこは、今から頑張って結果を変えられるわけでもないのに、ひたすら天に祈っておくことにします。

Give me 一次通過……！

今日、うちのマンションの洗車場で、小学生の女の子二人が、ホースで水をかけ合って遊んでたんですね。

で、その様子を見たマンションの管理人が、その子達に駆け寄って行ったので、「ああ、注意するんだな」と思って見ていたら、

**管理人が、小学生の女子と一緒に遊び始めた。**

……って、遊ぶのかよ！

危ないって、注意しろよ！

これは、アレですね。

この気持ちを、最近のラノベ風に表現すると、

「俺のマンションの管理人のおっちゃんがお茶目すぎる」

しかし自分は、最近のやたらと長い文章タイトルにウンザリしている人間なので、こういうタイトルを作品に付けようとは思いません。

で、ウンザリした結果、読むのをやめて書く方に専念するようになり、そうすると最近の流行がますますわからなくなって、その結果として誰の需要もない「ザビエル様」を送ってしまった。

去年の秋から、そんな流れです。

軌道修正する気は、まったくありません。

【今日のワナビ格言】

流行しているものよりも、流行させたいものを書こう！

というわけで、今日は以上です。

それにしても、あの管理人のおっちゃんは、いくら何でもお茶目すぎるわ……。

久しぶりに GA ブログを見たら、前期の応募総数の発表が！

やだー。

586 作品って、激増じゃないですかー。

GA って毎年例外なく後期の方が多かったと思いますが、その理屈でいくと、次回の後期はもっと増えちゃうんじゃないかな？

まあとりあえず、今気になるのは、8月15日の一次発表。

自分は今回出場していないので、発表祭りに、応援席から参加しようと思います。

いや、ほんとね。

GA は知っている名前が多いので、ついつい応援にも熱が入りますよね。

当日は、スタンドの最前列で、お前を応援するからな！

だから、とびっきりのホームランを見せてくれよ……！

うん。

8月15日は、そんな気持ちで。

あと、追加の要項に「二作以上投稿してくれる人は、複数の封筒を一つにまとめた状態で、一緒に送って来ていいよ」って書いてあるんですが。

え！？

今許可してるってことは、今までやっちゃいけなかったの！？

自分はその状態で電撃に投稿して、特に問題なく複数通過しているので、当然やっていいものだと思います。

もしかして、電撃だけ？

このラノで落ちたのって、ひょっとしてそれが理由？

……………。

今さらそんなことを考えても仕方ありませんが、今度からは完全に分けて投稿しようと思います。

昨日の補足。

一つの封筒に投稿作を2本入れたら、規定違反でアウトになりますよね。

それは、自分も理解しています。

そうではなくて、自分がとった方法は、

「投稿作を1本ごとに封筒に入れて、それらをまとめてダンボールに詰めて、一つの宅急便として送る」

何故そんなことをしたかという、当時シンガポールに住んでいたから。

だって、ほら。

複数の封筒をそのまま送ると、途中で破れそうじゃないですか。

それならいっそ、まとめて箱に入れて送った方が、確実に届くかなと。

その方法で複数投稿して、選評もちゃんと個別に届いたので、電撃的にはこの方法は問題ないみたいです。

しかしGAが今許可したってことは、今まではダメだったということで。

そうになると、他の賞でもNG扱いになっている可能性があるわけで。

このラノおおおおおおお！！

まあでもガガガはちゃんと別々に投稿して、受領ハガキも送った本数分届いて、その上で全部が一次落ちだったので、このラノもちゃんと読まれた上で落とされたんでしょう。

ああ、そうだ。

自分の負けを認めるところから、ワナビの成長劇は始まるんだ。

まあどっちにしろ、今後は確実に期して、別々に投稿しようと思います。

「封筒は別々なんだから問題ないよね！」と今まで勝手に思ってたんですが、例のダンボール作戦は、厳密に言うと「複数応募の際は一作品ごとに別送」を守れていないですもんね……。

「テリーのワンダーランド 3D」が届いたので、早速プレイ。

しかし、なんと！！

モンスター名の最初の 2 文字が名前になるシステム、健在！！

ってことは、アレか！？

死霊の騎士の名前は、GB 版と同じく「しり」なのか！？

やべえ。

14 年の時を越えて、あの「しり」の衝撃が蘇るなんて、ドラクエ素敵すぎる。

というわけで。

まだゲーム序盤だけど、死霊の騎士が出てきたら、総力でスカウトだ……！

ちなみに死霊の騎士以外のところでは、ドラongoとの因縁バトル、それから青年テリーと邂逅するイベントが、どういう処理になっているのか楽しみです。

……………。

もはや完全に、ゲームブログだな。

あ、そういえば、先週 3DS を買ったんですよ。

お店に行ったらテリーが在庫切れだったので、仕方なく本体内蔵の Mii 広場を起動させて梅田を歩いたら、あっさり 10 人集まって逆にビビりました。

いやあ。

みんな、3DS 持ってるんだなあ。

……とまあ、そういうわけで。

今後しばらくテリーをプレイし、それが無事に終わったら、ももんじゃ目当てに「スライムもりもり 3」をプレイしようと思います。

去年のえんための通過リストって、もう消されてしまったのかと思いきや、トップページの「えんため大賞ニュース」の下の方から今でも確認できるんですね。

という情報を今知って、改めて HP を見てきました。

うおおおおー！

通過リストに自分の名前が載ってるのって、何回見ても激しく感動的だ！

やっぱり、アレですよ。

投稿作を通過させるのって、たとえ一次であってもすごく大変なことなので、その分自分の名前を見つけた時の喜びは大きいですよ。

というわけで、このリンクがいつまで有効なのかはわかりませんが、落ち込んだ時にこっそりアクセスして自分を励まそうと思います。

それはそうと、今年のえんための発表も、いよいよ近付いてきましたね。

去年が7月1日発表だったから、特に締切りの延期がなかった今年は、確実にその日にくると思うんですが、今年の7月1日はなんと日曜日。

というわけで、今年の発表日を勝手に大予想！

【本命】 7月2日（月） 無難なところで、7月最初の平日に発表

【対抗】 6月29日（金） 早めに準備が整って、前倒しで金曜日発表

【大穴】 7月1日（日） 律儀に日程を守って、日曜日に予約更新

6月28日以前はさすがにないと思うけど、それにしたって、29日からF5連打の夏が始まると思うと胸熱。

今から月末までの約3週間、楽しみに待とうと思います。

評価シートに書かれたコメントの中に、理解できない文章ってありませんか？

あ、理解できないと言っても、「何それ、納得できない！」という意味じゃなく、単純に文章の意味がわからないという意味です。

自分がわからなかった文章は、これです↓

「いわゆる少女漫画のようなキャラクターの演出が乏しい部分が気になる」

これは、どっちの意味なんでしょう？

- 1.「少女漫画はキャラの演出が乏しいけど、君の作品もそうなるよ」
- 2.「少女漫画はキャラの演出ができていて、君の作品にはそれがないよ」

最初に読んだ瞬間は「1」だと思ったんですが、今改めて読み返したら、「2」の可能性も結構大きいような気が。

うーん……？

少女漫画って、キャラの演出できてますかね……？

自分の中での少女漫画のイメージは、「ヒロインはかわいいけど、相手役の男が無個性で、どこが好きなのかわからない」なので、できていないって意味のような気が。

しかし少女漫画といっても、「エースをねらえ！」のお蝶夫人のように、キャラクター立ちすぎな作品もありますよね。

そう考え始めると、「パタリロ！」だって、分類は少女漫画だしな。

……………。

まあ別に、少女漫画がどうであろうが、自分の作品がキャラ演出できていなかったことは確実なので、今後気を付けようと思います。

無理に決まってるけど、評価シートの内容について、出版社に質問できたらいいのになぁ……。

日本語検定の問題集を見ていて、細かい誤字を発見してしまった！

うーん……。

漢字の誤変換ならまだしも、これはどう見ても誤字だなあ……。

こういう場合って、出版社に連絡した方がいいんですかね？

ドヤ顔で誤字の指摘をするのって、嫌味なワナビみたいでちょっと気が進まないけど、このまま放っておくのも気になるし。

いや、まあ。

実際のところは、「みたい」じゃなくて、本当に嫌味なワナビなんですけど。

まあとにかく、もしかしたら返事こないかもしれないけど、一応出版社に問い合わせることにします。

普通の本なら確実にスルーしてるけど、日本語検定の公式問題集に誤字があるって、内容が内容だけに結構致命的ですからね。

しかし誤字はつけたものの、日本語検定は純粋に日本語の問題を出してくれるので、勉強するのも楽しいです。

似たような検定でも、ベネッセと朝日新聞の「語彙・読解力検定」は、純粋な日本語の語彙力じゃなくて、時事力や一般常識を問うような内容だったからなあ……。

Q. 三種混合ワクチンが対象とする病気は？

A. ジフテリア、百日ぜき、破傷風

Q. 十両以上の力士が結うことを許されたまげは？

A. 大銀杏

最初に少しだけ語彙の問題もあるけど、メインはこういう常識（雑学？）を問う問題。まあ1級が開始されたら、また受けようと思いますが、語彙とは少し違う気がします。

とにかくまあ、今はとりあえず、土曜日の日本語検定を頑張ろうと思います。

近所のマックで食事をしつつ、配信モンスターの「スラ忍パープル」を DL したら、いてつくはどうとマダンのスキルを持っていた。

おお！

さすが配信限定のレアモンスターだ！

そんなわけで、明日もマックに行って、次はラーミアを DL しようと思います。

あと自分の行動範囲で入手できそうなのは、ツタヤ配信の勇車スラリングと、ヨドバシのゴールドマジングと、関西限定配信のスラ忍ブルーだな……。

それから、ドラクエではありませんが、某 PSP ゲームのキャラクター人気投票に参加したら、自分の書いたコメントが採用されて、そのゲームの公式 HP に掲載されました。

マイナーゲームだからあえて宣伝はしないけど、かなり嬉しい！

ちなみに 1 人 1 票のみ有効だったので、PC から 1 票とスマホから 1 票（大人げない……）入れたら、両方とも採用されました。

総票が約 150 票で、紹介されたコメントが 3 つだから、掲載される確率は 50 分の 1！

もちろん 3 行程度の短いコメントですが、自分の書いた文章が高倍率の中から選ばれたと思うと、ワナビとしては嬉しいものがありますよね。

おまけにそのゲーム、もう完結したのかと思いきや、夏にイベントがあるとか。東京なので会場へは行けないと思いますが、今後もずっと続いて欲しい作品です。

そんな感じで、今日は以上です。

しかしこのブログ、徐々にゲームブログ化しつつあるな……。

小説を書いている時って、送り仮名に迷いませんか？

そこで問題。

次の送り仮名は、どちらが正しいでしょう。

表す / 表わす

現れる / 現われる

断る / 断わる

変わる / 変る

聞こえる / 聞える

晴れやか / 晴やか

冷ややか / 冷やか

当たり / 当り

正解は全部左側ですが、右側の表記も 1973 年の内閣告示「送り仮名の付け方」で特例として許容されているので、使ってよいそうです。

と、日本語検定の問題集に載っていました。

へえー、なるほど！

上の例は PC で変換すると両方出てくるし、辞書を見ても両方載っているから、どっちが正しいのか曖昧にしていたけれど、そういう事情があったんですね。

「晴やかな表情」とか「冷やかな視線」とか、小説を書いている時に結構よく使う表現なので、謎が解けてスッキリしました。

ちなみに誤字の問い合わせの件は、返事来ないです……。

まあ、うん。

いつか来ると思って、気長に待とう……。

そんなわけで、今日は以上です。

明日は朝から、ディオス北千里に行ってきます。

えんため大賞ニュースを何気なく見に行ったら、「えんため大賞」「発表」という文字が目飛び込んできたので、その瞬間イスから転げ落ちそうになりました。

うおおおおおお！

まさかの6月15日更新キタコレエエエ！

しかし落ち着いてよく見たら、「えんため大賞ガールズコミック部門」の発表でした。

ああ、よかった。

ビックリしちゃったよ、ドクンドクン。

まあ予定より早く発表してもらえたら嬉しいけれど、かといって、いきなり過ぎると心臓に負担がかかりますからね。

やっぱり、ほら。

自信作が落選しても平常心を保ってられるように、発表の5日くらい前から、イメージトレーニングを積んでおく必要があるし。

このラノの時は、このイメトレが十分にできていたおかげで、あまりダメージを受けずに済みましたからね。

あ、それはそうと、誤字の件は無事に返事が来ました。

「ご指摘ありがとうございます。次回増刷の際に訂正いたします」という内容の、ちゃんとした返信でした。

律儀だなあ、東京書籍。

他の会社にこういう問い合わせをして、返事がこなかったこと、過去に何回もあるのに。

まあとにかく、これで日本語検定も終わったので、また翻訳作業に戻ろうと思います。

えんためって、総数発表ないのかなあ。

締切りが近いラノベの賞の中では、講談社が恐ろしく減った反面、GA が過去最高記録更新という極端な状況なので、えんためがどう推移しているか激しく気になる。

ちなみに自分は、「増えている」にスーパーひとし君。

えんためは「一次通過者に選評送付」が今回から公式 HP に明記されたので、絶対に去年より増えていると思うんですね。

へっ！

これから強い奴らと戦えると思うと、オラ、すっげえワクワクすっぞ！

いや、まったく自信ないですけどね。

そういう悟空のような台詞を、一度言ってみただけです。

ちなみに、夏から秋の投稿予定は、うーん……。

リニューアルした一迅社も気になるけど、初回はちょっと様子見かな。  
ガガガと MFJ は何をやっても通らないので、もう送らないつもりだし。

その間に新作を書きためて、少年系はまとめて SD に送ろうかなと思います。  
あと、いたばし絵本翻訳には今年も参加したいですね。

9月 ルルル

10月 SD

11月 GA 後期

12月 いたばし絵本

7月と8月は発表ラッシュで平常心を保てそうにないので、予定は入れない方向で。  
そして9月～年末は、上のスケジュールで頑張ろうと思います。

本日「すばる」を立ち読みしたものの、新人賞の結果は載っていませんでした。

残念……。

まあ締切りから2か月後に発表は、さすがにないか……。

そう思って帰ろうとしたら、同じ棚に表紙の違う「すばる」が。

???

バックナンバー？

いやでも、こんな小さい地元の本屋に、バックナンバーなんてあるか？

不審に思ってよく見たら、それは「小説すばる」でした。

なんと！！

そこで初めて気付いたんですが、すばるって2種類あるんですね。

しかもそれぞれ新人賞を開催していて、締切りまで同じというスーパーフェイク仕様。

「すばる」⇒「すばる文学賞」

「小説すばる」⇒「小説すばる新人賞」

文学と一般エンタメで分けてるんだらうけど、ややこしいなあ。

間違っって送っちゃった人、絶対にいるぞコレ。

ちなみに自分が送った方は、「小説すばる新人賞」の方でした。

正直うる覚えだったけど、受領ハガキにそう書いてありました。

……………。

まあ「小説すばる」の方にも、結果は載ってませんでしたけどね。

しかし来月号にはきっと載るはずなので、心して待とうと思います。

全国のももんじゃファンの皆様、こんにちは。

以前ここで紹介したドン・モジャールのぬいぐるみを、普通のももんじゃに改造してみたので、その写真をご紹介します。

まずは、コチラ。

元になるのは、このドン・モジャールのぬいぐるみです。



2011年11月11日発売

定価：2,730円

高さ：約21cm

値段はちょっと高いですが、ももんじゃファンなら買うべき一品！

とはいえ、ドン・モジャールではなく、普通のももんじゃが欲しい方もいるでしょう。

それなら、帽子や上着や眼帯等の装備品を、すべて外してしまえばいいのです。

するとホラ、この通り！



購入前は少し不安だったものの、帽子を取ったら、トサカがちゃんと付いていて感激。

上着や帽子はしっかり縫い付けてありますが、爪のささくれ用の先が細くなったハサミを使えば、意外と簡単に取ることができます。

ささくれ用のハサミは、100円ショップの美容コーナーなどで売られています。  
(ちなみに普通のハサミでは、刃先が太すぎて無理でした)

「ささくれハサミ」は、大事なぬいぐるみが汚れてしまった時に、毛先を少しだけ切ると綺麗になるので、普段のお手入れにも重宝しますよ。



後ろ姿もラブリー。

尻尾が7本ある点と、右手がフックになっている点は、改造の施しようがないので、その部分は目をつむりましょう……。



遺留品の数々。

綺麗に取り外して、着せ替え遊びをするのもいいですね。  
もしくは2匹用意して、スラもりごっこをするのも楽しいかも。



ブッカ 「またスラリングルに負けたモジャ……」

ドン・モジャール「ええい！ 貴様はもうクビだモジャァ！」

以上、「ドン・モジャールをももんじゃに改造しよう！」企画でした。

ももんじゃ愛好家の皆様は、この機会にドン・モジャールとささくれバサミを購入して、是非自分だけのももんじゃを作成してみてください。

一迅社アイリスの一次発表マジキター。

うわー、すごい！

去年は7月だったのに、6月中に発表なんて、アイリスやるじゃん！

まあそれでも、締切りから一次発表まで、9か月近くかかっているけどね！

と、一迅社をネタにするのはさておき、自分の作品はあっさり一次落ちでした。

まあ洋風ファンタジーがメインの賞に、現代物（しかも学園舞台ではなくバイトの話）を送ってしまったので、一次落選は最初からわかっていました。

だから決して、ショックではないんです。

決してショックではないんですが、9か月間もその作品が選考に拘束されて、他賞に投稿したりネット公開できなかったことを考えると、さすがに気持ちが萎えますよね。

まあ、ね。

そんな文句を言っても、誰かに強制されたわけではなく、送ったのは自分ですけど。

ともかくこれで、一迅社の選考からはフリーになりました。

少年系の方の発表はまだみたいですけど、自分は少女系だけの参加だったので、もうHPチェックなんてしてあげないんだから！

それにしても、現代物の少女小説って、どこに送ったらいいんでしょうね？

ビーンズもルルルもアイリスも、少女系の賞って、どこもファンタジー一色ですもんね。

うーん……。

「マリみて」とかあるし、一番可能性があるのはコバルトかなあ……。

9 か月も待って一次落ちなんて、悲しいねえ。(ドルマゲス口調)

それはそうと、ようやく「テリーのワンダーランド 3D」をクリアしました！

中盤でちょっとくじけそうになったけど、初回クリア⇒裏ボスクリアの流れは、オリジナルの GB 版になかった要素なので、そこの部分が一番楽しかったです。

それと、すれちがい対戦に想像以上にハマりました。

ボスばかり揃えた最強パーティーに出会ったり、ザコ敵にレアスキルを付けているマニアックな人がいたり、かと思いきや、配信モンスターをわざわざ低レベルで提供してくれている人がいたり。

梅田で関東配信のスラ忍レッドとすれ違えたのは、本当にありがたい。

あと、ジゴスパークを連発するももんじゃに出会った時は、「おお、さてはこのプレイヤーも、ももんじゃファンか！」と胸が熱くなりました。

それから、プレイヤーの年齢層が意外と高いみたいで、その点も嬉しいですね。

発売前は「ポケモン世代の小学生がプレイ層かなあ」と思ってたけど、いざ発売されてみたら、20代～30代のオールドファンが想像以上に多いみたいで。

自分も結構な年齢なので、その点にとっても安心しました。  
ファミコン時代からのドラクエファンは、まだまだ大勢いるんですね。

とまあそんなわけで、とりあえず裏クリアが完了したので、今後は究極配合のももんじゃ 4 匹を育てようと思います。

それにしても、アイリスの一次落ちは本当に悲しいわ……。  
今後しばらくの間は、ちょっと執筆意欲が湧きそうにないな……。

えんため一次発表キタァァァ！

去年も同じこと思ったけど、えんためは本当に早過ぎだ。  
締切りから二か月たたずに発表とか、一迅社もちょっと見習って欲しいもんだ。

それはそうと、少女系の方は残念ながら落選でしたが、サディストが一次通過してくれてよかったです。

タイトル微妙に違うけど、嬉しいから気にしない！  
「貞潔サディスト」のはずが、「貞淑サディスト」になってるけど、無問題！

それともまさか、常木らくだという同姓同名の投稿者さんが、「貞淑サディスト」を投稿したわけではあるまいな……。

まあとにかく、アイリスの落選にガッカリしている矢先だったので、嬉しさ倍増。

ひとまずこれで、えんため一次通過という去年と同じ成績は出せたので、来月の二次発表にさらなる希望をつなごうと思います。

目標だった少女系との同時通過は無理だったけど、この際もういいや。

あ、そうそう。  
少女系といえば、ルルルカップの選評が、ちらほら届き始めているみたいですね。

自分は前回のルルルカップには送っておらず、今月末の回にも参加できなさそうですが、もし今後も開催されるようなら送ってみたいです。

ルルルの評価シートって、どんな内容なのか気になりますもんね。  
ルルル大賞の本筋の方も、今のところ評価シートないし。

まあともかく、来月はさらに一次発表が2か所である予定なので、このまま上がり調子になって欲しいと思います。

アイリスとえんためガールズの落選は、本当に残念でした。

まあサディストが迎撃してくれたおかげで、一次落ち三連コンボの直撃は防げましたが、しかし少女系に限っては三連コンボなんですよ。

ルルル⇒ アイリス ⇒ えんためガールズ

あっれー？

おかしいなあ？

現代物のバイト話を送ったアイリスの落選はともかく、えんためガールズには、ヨーロッパが舞台のお嬢様物語を送ったんだけどなあ？

つまるところ、落選は題材のせいではなく、自分の実力不足ってことですね。  
その証拠に、2年前から少女系も投稿してるのに、いまだに通過歴ゼロですし。

うーん……。

自分はやっぱり、少年系を書いた方がいいのかなあ……。

まあでも、3か所で一次落ちしたくらいじゃ、まだわかりませんよね！  
よく考えてみれば、少年系の賞だって、MF & ガガガ & このラノで全滅してるし！

そういうわけなので、少女系の話についても、もうしばらく書き続けてみます。

負けるな、自分！

ドンマイ、自分！

次こそは、少女系のラスボス（と勝手に思っている）ビーンズに投稿するんだ……！

とまあそんな感じで、アルク翻訳も日本語検定も終わったので、次に書く作品のプロット作りにぼちぼち着手しようと思います。

現在選考中ではないフリーの作品を、8月のファンタジアに送ろうと思って、要項を改めて見てきたのですが。

- ・原稿枚数 40 字× 16 行換算で 200～250 枚となります。
- ・本編：128,000～160,000 文字程度を目安にしてください。

やべえ……。

自分が送ろうと思った作品、59,000 字だ……。

「40 字× 16 行換算で 200 枚」にはギリギリ乗ると思うんだけど、この作品を何食わぬ顔で投稿するのって、さすがにマズイですよ。

文字数はあくまで参考とはいえ、何しろ下限の半分以下だしなあ。

おまけに上限から見ると、100,000 字も少ないわけだし。

そんなわけで富士見は諦めて、夏に締切りがある他の賞を探したら、自分にピッタリの賞が！

- ・少年系ラノベ
- ・8 月末締切り
- ・規定枚数、70 枚～140 枚
- ・一次通過者に評価シート

……………。

どこかというと、まあ、一迅社なんですが。

まあでも、先日のアイリスは残念無念だったけれど、少年系にはまだ送ったことがないので、この機に挑戦してみようかなと思います。

評価シートも気になるし、それに何より一迅社最大の難点である「発表の遅さ」が、リニューアルによって解消されるみたいです。

そんなわけで、8月の「一迅社」を、こっそり投稿予定に入れてみようと思います。

締切りまでまだ結構ありますが、さっそく一迅社の準備を始めました。

しかし、封筒に入れる物って、次の3つでいいんでしょうか？

- ・本文のテキストデータ、連絡先、あらすじ（CD-R）
- ・連絡先（紙）
- ・あらすじ（紙）

連絡先とあらすじは、CD-Rにも保存して、紙状態でも送れってことですよね？  
わざわざ「別紙」、「別途添付」って書いてあるし。

うーん……。

いまいちよくわからないけど、とりあえず、その理解で送ってみようと思います。  
よく考えてみれば、GAもそうですもんね。

それにしても、だいぶ前に買ったCD-Rが、これでようやく役に立つ！

というのも、「このラノで二次通過したら、データを送る必要があるな」と思って、CD-R10枚パックをわざわざ購入して、冬からずっとスタンバイしていたんですよ。

まあ実際は、二次通過どころか、5作品が一次落選だったわけですが。  
本当に毎度のことながら、ピエロにも程があるわ自分。

とにかくそういう理由で、CD-Rは大量に買ってあるので、何度書き込みに失敗してもノープロブレム。

それから、今回えんためガールズで落選してしまった話を、ダメ元でアイリスに送ってみようかなと思います。

「リニューアル後は、発表を早くします」という、その言葉を信じてる……！

とか言って、早くなるのは少年系だけだったら、今度こそ本気で呪いますけどね。  
なんか、普通にありえそうで怖いなあ……。

今回えんために送った原稿の PDF ファイルを、自分で再確認してみたけれど、やっぱりタイトルは「貞潔サディスト」でした。

「貞潔」と「貞淑」って発音違うから、単なる誤変換とかではなく、間違っって入力しちゃったんだろうなあ……。

ちなみに「貞潔サディスト」は主人公を指した言葉なんですけど、「貞淑サディスト」だと、語感的にヒロインを指してるっぽいんですよね。

このタイトルで1本書くなら、こんな感じかな↓

\*\*\*\*\*

『貞淑サディスト』

ヒロインはミッションスクールに通う貞淑なお嬢様だが、ロウソクを持つとドSな性格に豹変してしまうため、礼拝の手伝いができずに悩んでいる。

宗教主任の教師からヒロインを救うよう命じられた主人公は、自らの身体を犠牲にしながら、ヒロインの性格改善に取り組むことになるのだが……。

\*\*\*\*\*

うわあ。

なんか、コテコテのラノベが出来そうだ。

まあ上の話は冗談ですが、誤植から生まれる新作とか、新鮮ですよ。

評価シートでキャラ名が違うのは結構よくあるけど、発表時に作品タイトルが違うのは、さすがに初めてだもんなあ。

というわけで、もし半年後くらいに「貞淑サディスト」がどこかの賞で通過していたら、「らくだの奴、あの話本当に書いたのか……」と思っておいってください。

電撃の一次発表、まだありませんね。

例年6月10日だった応募総数の発表が、今年は何故か5月25日に前倒しされたので、一次発表の前倒しもあるんじゃないかと、ちょっとだけ期待してたのになあ。

まあ総数発表のページに、7月10日と明記してあるので、あるわけないんですけどね。

いいじゃない。

ないとわかっていても、それでも期待してしまうのが、ワナビ心ってものよ。

それから7月といえば、えんための二次も気になりますね。

去年は確か7月29日だったから、去年よりも一次発表が早かった今年は、

本命・7月20日（金）

対抗・7月27日（金）

げっへっへ。

カネを賭けるなら、この2つがカタイですぜ、おやっさん。

場末の予想屋風な口調で。

あと自分が結果を待っているのは、すばる一次とスニーカー一次なんですけど、この二つはいつ発表なのかわからないので、まあ気長に待とうと思います。

「果報は寝て待て」って、昔から言うもんな。

まあその言葉を真面目に実行したら、待っても果報が来ない自分は、一生寝てなきゃいけないけれど。

果報待ちの、寝たきりワナビ。

まあとにかく、7月の発表ラッシュに向けて、今から入念にイメトレしておこうと思います。

日本語検定のホームページに、解答速報が載っていたので、こっそり答え合わせをするの巻。

しかし合っている分野は全問正解で、間違っている分野はほぼ全滅という、非常に極端な結果でした。

うーん……。

分野別の足切りに引っかけられないといいなあ……。

まあでも結果はさておき、この検定のために勉強したことは、文章を書く上で実際に役立ちそうです。

「冷ややか」が正確な送り仮名で、「冷やか」が使用を認められた特例だなんて、この勉強をしなきゃ、絶対にわからなかったもんな。

特に自分は、「冷やかな視線」という表現をよく使うので、毎回迷ってたんですよ。

あ、いや、別に自分が、冷やかな視線で見られたいわけじゃないよ!?

いくら何でも、そこまで本格的にドMじゃないしっ!

(↑慌てて弁解するところが余計に怪しいパターン)

とにかく、来月には結果が送られてくるので、ワクワクしつつ待とうと思います。

ちなみに「受検番号がまさか5番!？」の件は、本当に5番でした。

そして受検者は、30人程度でした。

去年の語彙・読解力は、余裕で300人越えてたのになー……。

まあこういう検定の類は、結果はともかく勉強すること自体が身になると思うので、今後こういう機会があったらまた受けてみようと思います。

つい先程、ルルルカップの総評を見てきました。

あ、あれ？

「気になった作品や総評などをアップ」って予告してたのに、総評だけじゃん？

まあでも、こうして1サイクル終わったことで、この賞の趣旨がわかったような、やっぱりあんまりわからないような。

なんか、位置付けが難しいですね。

通過作品のリストが発表されるわけでもなく、ましてや以前の短編時代のように、優秀作の本文が掲載されるわけでもない。

そうすると、ここに送るメリットは、「評価シートがもらえる」だけのようない……？

まあ評価シートも大きなメリットとはいえ、自分個人的には「ルルルカップの最大の魅力は本文が掲載されること」だと思っていたので、その部分をちょっと残念に思いました。

同じテーマを同じ枚数で書いても、書き手によってアプローチが全然違ったりするので、読み手としてそれを楽しめるのもルルルカップの良さだと思っていたんですけどね。

そもそも、本文掲載や読者投票がなかったら、「カップ」じゃないような気がするし。

まあでも、気になる賞であることは事実なので、今後も注目を続けようと思います。

何気なく、第3回の開催宣言もありましたしね。

……………。

評価シート目的に、ルルル大賞で一次落ちした話をそのまま送るのは、さすがにダメだよなあ……………。

続編投稿はやったことあるけど、それを試す勇気はちょっとないわ……………。

ここ最近、暑いですね。

まだ6月の現段階でこんなに暑いなんて、地球はきっと、この夏のペース配分を間違っているに違いない。

まあ、ね。

そういう自分は、人生のペース配分を、おおいに間違っているわけですが。

それにしても、4月から6月はまったく何も書けなかったもので、7月からはさすがに執筆に戻ろうと思いません。

もちろん、新作を書くことで持ち弾を増やしたい気持ちもありますが、自分の場合書くこと自体が精神の安定にも繋がるので。

作品に真面目に取り組んでいる最中は、周囲から多少攻撃されても受け流せるけど、そうじゃないタイミングで攻撃されると、まともにダメージを食らってしまうんですね。

6月は何度かそういうことが重なって、本当にそれを痛感した月でした。

とにかく、自分の心の拠り所が小説書きであることは間違いないので、たとえ思うような結果を残せなくても、今後もずっと書いていくんだらうなあと思います。

そして、このブログ。

新年に開設してからちょうど半年ですが、最近少女系の訪問者さんが増えたようなので、ひそかにガッツポーズをしています。

少年系と、少女系。

たぶん本当に上を狙うなら、どっちかに絞った方がいいんだらうけど、そうは言っても両方書きたいので、これからも中途半端に両方書こうと思います。

そんなわけで、今後も「らくだ図書館」をよろしくお願い致します。